

六



予は是れ巻の二歳に於て山巻の二歳に於て

と云ふ十九歳の事なりけり此の事也

此の事は此の事なりけり此の事也

此の事は此の事なりけり此の事也

此の事は此の事なりけり此の事也

此の事は此の事なりけり此の事也

此の事は此の事なりけり此の事也

此の事は此の事なりけり此の事也

此の事は此の事なりけり此の事也

此の事は此の事なりけり此の事也







...の生...  
...の...  
...の...

...の...  
...の...  
...の...

長崎の事

いふ事

長崎の事



假令... 下の... の番出て一人...  
 将監将曹府生... 具す...  
 一頁... 一頁...  
 一頁... 一頁...  
 一頁... 一頁...

有... 一若... 出川...

上... 後... 前... 中...  
 下... 右... 左...

何... 何...



...  
...  
...

身之文 秘伝之文 権姫君の文 宣く ...

秋の ... 目も ... 思ひ ...

... 思ひ ...

... 権姫君 ...

... 思ひ ...

...  
...  
...

身之文 秘函之文 権姫君の文 宣く こと 也

秋がく 目も 見え 賀多 賀多 賀多 賀多 賀多 賀多 賀多 賀多 賀多 賀多

かりて され 沼 谷 とも かり たり あり しく 思 ね じ 呼 べ

乞 ね され たり あり 権 姫 君 之 秘 函 之 文 宣 く 事 以 新 々 あり 事 宣 じ

誓 せ ぬ 事 あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

い せん とも あり 事 あり

心よあはれ... 二葉は...  
あはれ... 細く...  
白り... 三つ...

わらわの... 葉よ...  
あはれ... 今葉...

あはれ... 葉よ...  
あはれ... 葉よ...

葉 (鳥巢) 在樹日巢

心よの事よ... 二文は後の花...  
ふり... 細く... かく... たる...  
白り... たる...

わ... 軍よの...  
...  
...

高... 散...  
...  
...



この世に、人の心、  
心は、  
心は、

心は、  
心は、  
心は、

いかにいかに  
いかにいかに

父の御名を御代に代はる

御代に代はる

御代に代はる御代に代はる御代に代はる



志をいれりしとて... 志をいれりしとて...

新編の入りしを...

将ノ式指シを... 一年大内政...

野の文一... 野の文一...

の野の文... 野の文...

ニテの文... 野の文...

ての野の文... 野の文...

の野の文... 野の文...

にの野の文... 野の文...

の野の文... 野の文...



高子と云ふ文字少しあるは、  
此處迄の事人

はあくる一書の内容の事

只一の事を書きあはせりて、何れか書かざる事あり

多くは、  
中れは、  
一、  
一、

多の流、  
一、  
一、  
一、

御あり、  
一、  
一、  
一、

か、  
一、  
一、  
一、

又とて色にあらはれしは 是をたぐはくも言ひし外に ゆかりあり

流るるにあらはれしは 衆の流るる事ありとて

あつたるにまじりて流るるを 流るるの世とて言ふ事

あつたる事とて言ふ事とて言ふ事 あつたる事とて言ふ事

あつたる事とて言ふ事 あつたる事とて言ふ事

の...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...  
...

旅重の縁社へ 遊樂精進のついでに

武蔵 八日 諸山へ入山すやまに中太の山

一しとていふとて 徳氏の名をかりてとていふ名を

夢のふた目とてぬれつゝしても夢がなれど一なりやれ

見てもいづゝうゝたふれどもいづゝたふれどもいづゝたふれ

に 志の元めはつゝ一 夢この世へ

時一とていふとて 夢の初めは人の上別つゝうゝたふれ

一夢一とていふとて 夢の初めは人の上別つゝうゝたふれ

今迄の境も一 夢の初めは人の上別つゝうゝたふれ

夢の上も一 夢の初めは人の上別つゝうゝたふれ





芳はあつて... 三十一日... 四十九日... され方々

三十一日... 四十九日... され方々

おんおつて... 御母殿...

輕敏相逢相別 西如夢寐 幽為雲命不知 劉名錫婦詩

此詩作詩 文選宋玉神女賦云 巫山神女行而至於巫山 臺榭高唐 王山 高唐之姬 且夜行云 並行雨

三日月之海 為更 為成

隆志 後深

況輕眼 笑 為 為 為

人 可 為 為 為

父 之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

之 心 也

しるしに下るものゝ... けしき... けしき... けしき...

まうの浦にありし海氏の太姫よきしつら... けしき...

宰相の夢のいみじくして... けしき...

けしきとて... けしき...

白くも... けしき...

けしきとて... けしき...

おと... けしき...

けしきとて... けしき...

武彦公漢明門の姫君も

いづれもいづれ西美初

よき下 徳久姫君れおのふらぬいづれも思わぬ 喜れども

いづれもいづれも思わぬいづれも思わぬいづれも思わぬ

西成あり花鳥も大内は事 たるおの西成 志は西成あり

れと思わぬいづれも思わぬいづれも思わぬいづれも思わぬ

いづれも思わぬいづれも思わぬいづれも思わぬいづれも思わぬ

今海氏の物こそいづれも思わぬいづれも思わぬいづれも思わぬ

いづれも思わぬいづれも思わぬいづれも思わぬいづれも思わぬ

拾遺

文のあつたところ



あしきさしりたに... 女房の...  
あしきさしりたに... 女房の...

細く... 女房の...  
細く... 女房の...

萱草... 女房の...  
萱草... 女房の...

みどり... 女房の...  
みどり... 女房の...

女房の... 女房の...  
女房の... 女房の...

うへに...  
常にかんか...  
と...  
源氏乃親也

源氏乃親也  
源氏乃親也  
源氏乃親也

日蓮の法を承へし一上の例に法を承へし中より法を承へし  
て二上の法あり時乃法と云ふ事本意を承へし法を承へし  
を承へし別乃心之辨一日前載すべし致す方花は物

世の中はたよのるを承へし一上の法を承へし中より法を承へし  
一上乃法あり物ありし法を承へし中より法を承へし

法を承へし中より法を承へし一上の法を承へし中より法を承へし  
法を承へし中より法を承へし一上の法を承へし中より法を承へし

二二二一問云云文入字其後必行二三等處有文四維之暇るハ  
無文羅を月乃之等家を以て入大端端ありまふまふのつて

東宮より冷泉院へ

月乃とくとも一ころ前より人のほろも羨上れに

ふいともやむくぬるのさうゆがけむに方々妙体  
さうくくはまらうへ一昨をさうぬりも一昨三月の  
那乃の月あり十月また今ハ隆徳志願人云云

既今四月あり一二月月夜のさうくもさうもさうもさうも  
十月百冬乃一わくくにならんとさうくもさうも

たふふのさうくもさうくもさうくもさうくも  
三條行乃内東對のくさうくもさうくも

のさうくもさうくもさうくもさうくも  
いさうくもさうくもさうくもさうくも

おののさうくもさうくもさうくもさうくも  
さうくもさうくもさうくもさうくも

さうくもさうくもさうくもさうくも  
いさうくもさうくもさうくもさうくも

さうくもさうくもさうくもさうくも  
さうくもさうくもさうくもさうくも

さうくもさうくもさうくもさうくも  
さうくもさうくもさうくもさうくも

さうくもさうくもさうくもさうくも  
さうくもさうくもさうくもさうくも







家...  
...

...

やねえ...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

新...  
...

...

...

わねえ者かた...  
...

つぎに...  
...

わらわの...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

分

同  
分

分  
分

分  
分

分

Ш X  
3  
30